

会議録

会議の名称	令和6年度 第3回和泉市教育委員会評価委員会	
開催日時	令和6年7月4日（木）午前10時00分～	
開催場所	和泉市役所庁議室	
出席者	教育委員会評価委員 委員長 平良 伸哉 委員 杉田 菜穂 委員 川口 厚	
	教育委員会事務局	
	参与	並木 敏昭
	教育次長兼生涯学習部長	辻 公伸
	教育・こども部	
	部長	東 直樹
	教育指導監	上田 茂幸
	学校教育担当次長兼教育総務課長	鍛治 公哉
	教育総務課長補佐兼総務係長	大西 薫
	教育総務課企画係長	吉田 昌史
	教育総務課総務係主事	西川 世理奈
	学校園管理室長	佐々木 敦
	教育施設担当課長	大内 浩平
	保健給食担当課長	濱田 直美
	学校教育室長	阪下 誠
	教育指導担当総括参事	山村 直美
	教職員担当課長	岩井 靖久
	人権教育担当課長	永井 敬
	教育センター所長	隅埜 哲弥
	こども未来室長	西角 雅士
	幼保運営担当課長	北野 剛司
	幼保育成担当課長	樋上 征史
	幼保育成担当参事	田中 充己
	生涯学習部	
	生涯学習推進室長	前田 志織
	生涯学習担当課長	橋本 吉人
	スポーツ振興担当課長	富岡 大作
	青少年センター所長	藤原 寛
	久保惣記念美術館館長代理	田中 ゆかり
	久保惣記念美術館総括参事兼副館長	橋詰 文之
	文化遺産活用課長補佐兼文化遺産活用課係長	千葉 太朗

審議内容	
【取組項目全体】 鍛治次長	<p>第1回評価委員会で委員からいただいた指摘を踏まえ、取組の成果における達成度について見直しを行った。達成度については、達成率を踏まえた5段階評価とし、目標達成に至らなかったものについて原因の洗い出し、取組の再検討を行ったうえで、必要に応じて追記している。</p> <p>加えて、前年度との比較が重要であるという指摘を踏まえ、各取組項目において、令和4年度の実績値を追記している。</p>
【取組項目番号3】 杉田委員	全国的な課題である保留児童等の対応については、難しい部分もあると思うが、非常に重要な事業であることから、引き続きしっかりと対応をお願いしたい。
【取組項目番号4】 川口委員	タブレット端末を活用した授業改善については、引き続き取組みをお願いしたい。
【取組項目番号6】 川口委員	全国的に教員不足で、年度当初から欠員が生じている学校もあるため、教員確保については引き続き取り組んでいただきたい。事業評価においては根拠も明記されており、よく分かる内容に改善されている。
【取組項目番号7】 川口委員	コロナ禍以降、不登校児童生徒数が全国的に大きく増加傾向にある中、和泉市において千人率が減少していることは大きな変化だと受け止めている。一人ひとりの児童生徒に対して、先生方がしっかりと対応された積み重ねが数値に表れていると思うので、高く評価する。
【取組項目番号9】 川口委員	和泉市では外国籍の児童生徒が増加傾向にあること、日本語教員の資格が国家資格化されることで注目されている状況がある。日本語教育の充実は難しいところもあるかと思うが、引き続き取組みをお願いしたい。
杉田委員	日本語指導については全国的にも議論されており、日本語指導が必要な児童生徒の増加が今後も見込まれることから、人材育成も含め、しっかりと取り組んでいただきたい。

<p>【取組項目番号 10】</p> <p>杉田委員</p> <p>平良委員長</p> <p>【取組項目番号 12】</p> <p>川口委員</p> <p>【取組項目番号 14】</p> <p>杉田委員</p> <p>【取組項目番号 17】</p> <p>平良委員長</p> <p>【取組項目番号 18】</p> <p>杉田委員</p> <p>【取組項目番号 21】</p> <p>平良委員長</p> <p>【取組項目番号 23】</p> <p>杉田委員</p>	<p>地域での子どもの育成に関する取組みでは、地域別の推移や傾向を分析した上で、改善策の検討を行っていただきたい。</p> <p>市内中学校の生徒と大学の学生が協働で、落書きされたトンネルを綺麗に塗る「アートトンネルプロジェクト」という活動をしており、地域の方も大変喜んでいた。子どもたちと地域の方が一緒に取り組む活動が広がっていけば嬉しいと思う。</p> <p>給食に関しては、食の安全が確保されている状況が当たり前で、何か問題があっては許されないという厳しい状況にあるが、その中で適切に対応されていることが、報告書において良く分かる内容になっている。</p> <p>学校図書館図書標準の達成校数は、達成率だけ見ると低い数値だが、評価にあたっては、取組みの内容が重要である。目標達成に向け、着実に取り組んでいただきたい。</p> <p>PTA 協議会については、全国の PTA 協議会からの脱退や、PTA 組織が脆弱になっている状況があることから、校長などを通じて PTA の様子を把握し、支援の方法を検討してもよいのではないか。</p> <p>スポーツ施設の修繕については、人件費や物価の高騰、人手不足などの課題はあるが、生きがいや健康に繋がる事業は重要なことから、しっかりと取り組んでいただきたい。</p> <p>郷土史読本はとても有益なものだと思うので、活用している学校現場のニーズを把握したうえで、次の改訂に活かしていただきたい。</p> <p>展覧会の入館者数については、コロナ禍からの回復状況の予測が難しいとのことだが、推移、傾向を把握しながら取組みを進めていただきたい。</p>
--	---

<p>【取組項目番号 26】</p> <p>杉田委員</p>	<p>全国的に議論になっている子どもの居場所づくりは非常に重要な事業である。引き続き、アンケート等によるニーズの把握と対応に取り組んでいただきたい。</p>
<p>川口委員</p>	<p>家庭の教育格差について言及されている昨今において、体験活動の参加人数が増えている状況は、行政が教育の機会を提供することで、格差を埋めるよう努めていると感じる。</p>
<p>【取組項目番号 28】</p> <p>平良委員長</p>	<p>電子図書はどの程度揃えているのか。</p>
<p>橋本課長</p>	<p>電子図書の増刷を順次行っており、引き続き増加に向けて取り組んでいきたい。</p>
<p>【取組項目番号 29】</p> <p>杉田委員</p>	<p>ブルーミントン市への派遣事業については、派遣後においても、国際化あるいは、英語教育の成果につながる取組みを行うことが非常に重要なと感じており、積極的に取り組んでいただきたい。</p>
<p>【まとめ】</p> <p>川口委員</p>	<p>各事業の評価にあたっては、根拠となる成果が出ているか、予算と決算に乖離があった場合は、その決算が合理的なものであるかという視点で説明を求めてきた。点検・評価報告書の記載も改善されていることから、引き続き、市民への説明責任を果たしていただきたい。</p>
<p>杉田委員</p>	<p>点検・評価報告書については、根拠となる数値の記載や、取組内容と事業評価の関連付け、予算と決算に乖離があった場合の説明などの改善により、非常に見やすくなった。さらなる向上をめざしていただきたい。また、達成目標の設定については、合理性、根拠をしっかりと持つておくことが重要である。</p>
<p>平良委員長</p>	<p>達成度を評価に加えたことは、非常に良い取組みで大きな変更点だが、目標値の妥当性については、今後も検討が必要だと感じている。</p> <p>本来、評価方法を変更することはあまり望ましくないが、より分かりやすくするための変更であるので、今回はやむを得ないものと思っている。</p>
	<p>以上</p>